

平成19年
梅雨前線豪雨及び台風4号に伴う
大隅地方土砂災害



国道220号

垂水市 二川地区

■被災の概要

平成19年6月以降活発化した梅雨前線及び7月中旬に日本列島を縦断した台風4号に伴う豪雨により全国各地で土砂災害が発生しました。

鹿児島県では南大隅町を中心とした大隅半島で、土石流やがけ崩れによる多数の住家被害や集落の孤立化など、被害は甚大なものとなりました。



川田原川

南大隅町佐多郡地区



浜尻川

南大隅町佐多浜尻地区



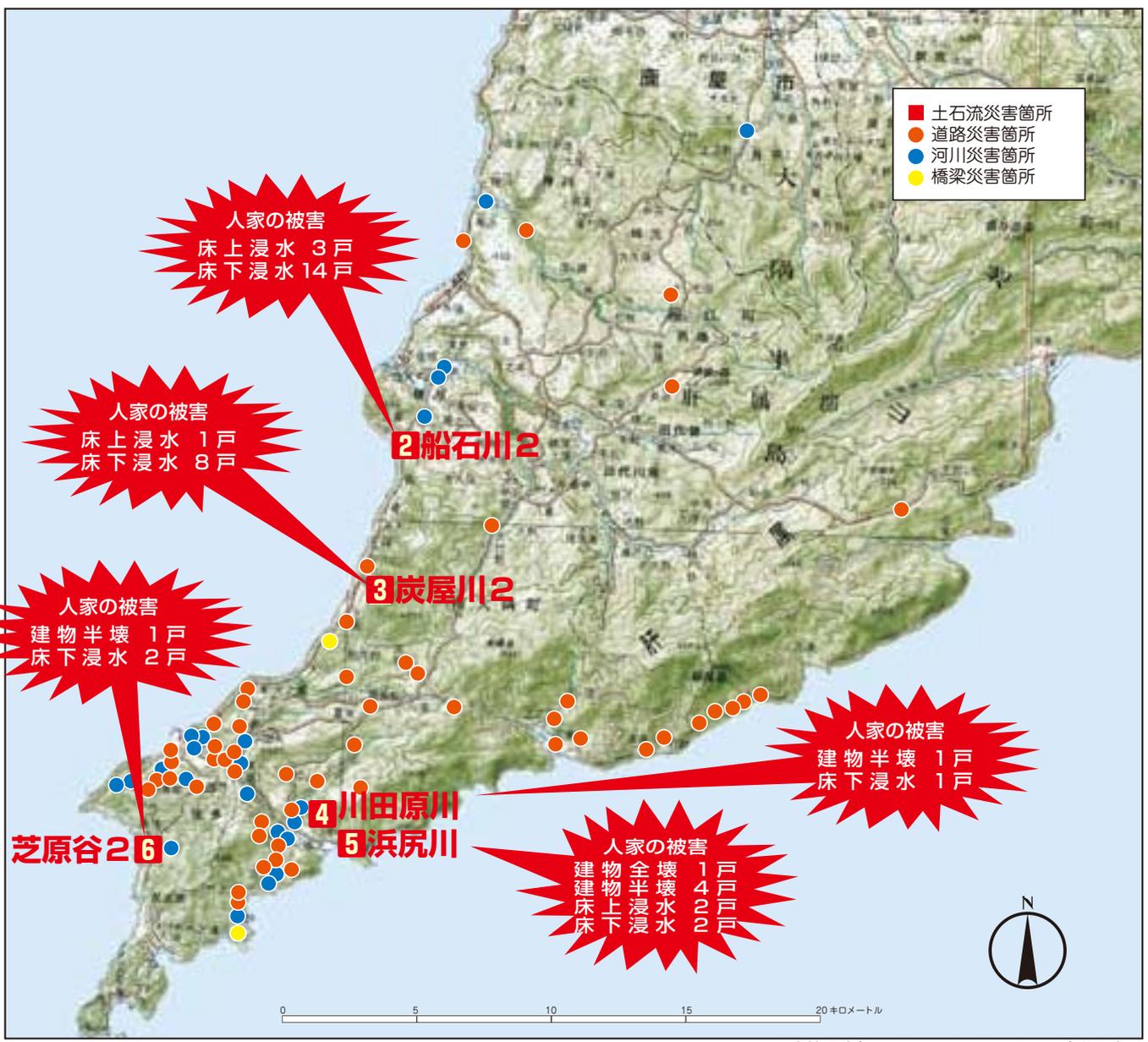
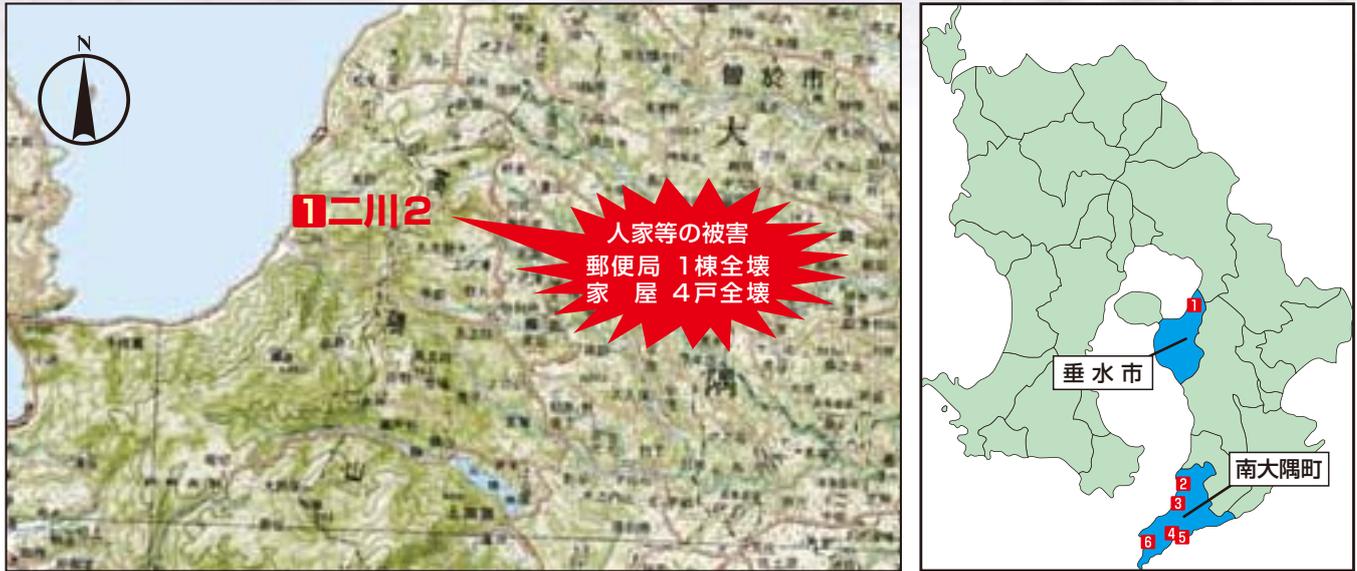
炭屋川2

南大隅町根占辺田地区

■被害の状況 (土砂災害)

総計	人的被害		全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水	土石流
	死者	負傷者	棟	棟	棟	棟	棟	箇所
垂水市			5		5		13	1
鹿屋市					1	2	13	
東串良町							50	
肝付町			1		2	1	42	
錦江町					1		13	
南大隅町			7	5	3	35	78	5
合計	0	0	13	5	12	38	209	6

大隅地方の災害発生箇所



国土地理院(NH-52-1-NH-52-2-NH-7)より引用

■気象の概要

九州南部では、6月1日の梅雨入りから7月18日の梅雨明けまでに、活発な梅雨前線や台風4号の影響によって各地で強い雨が長時間降り続き、特に大隅地方では記録的な豪雨となりました。

大隅地方では梅雨期間中に、錦江町田代で107ミリ(6月22日)、南大隅町佐多で107ミリ(7月11日)、肝属町甫与志岳で89ミリ(7月11日)、鹿屋市吉ヶ別府で84ミリ(6月

25日)、志布志市で87ミリ(6月25日)と、観測史上最多の時間雨量を記録しました。

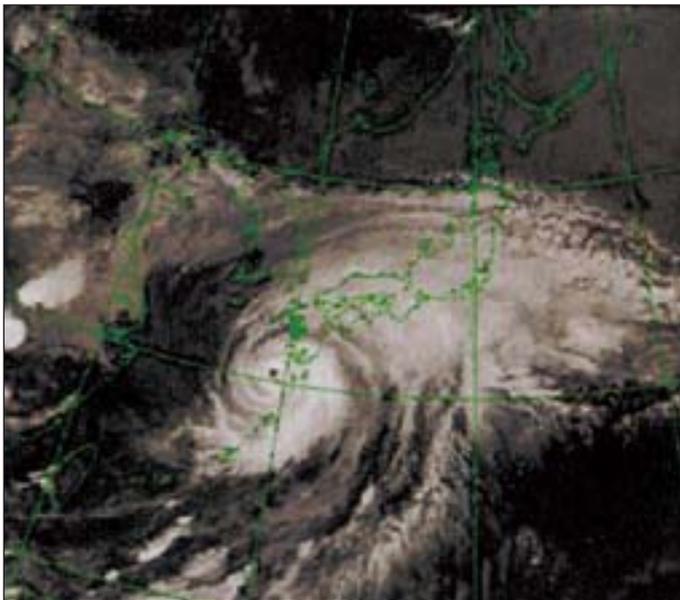
また総雨量においても、錦江町田代で1882ミリ(平年値の3倍)、鹿屋市吉ヶ別府1734ミリ(平年値の2倍)、垂水市高峯1690ミリ(平年値の2倍)を観測するなど、軒並みに平年の2倍を超える雨量を記録しました。

■台風4号の経路



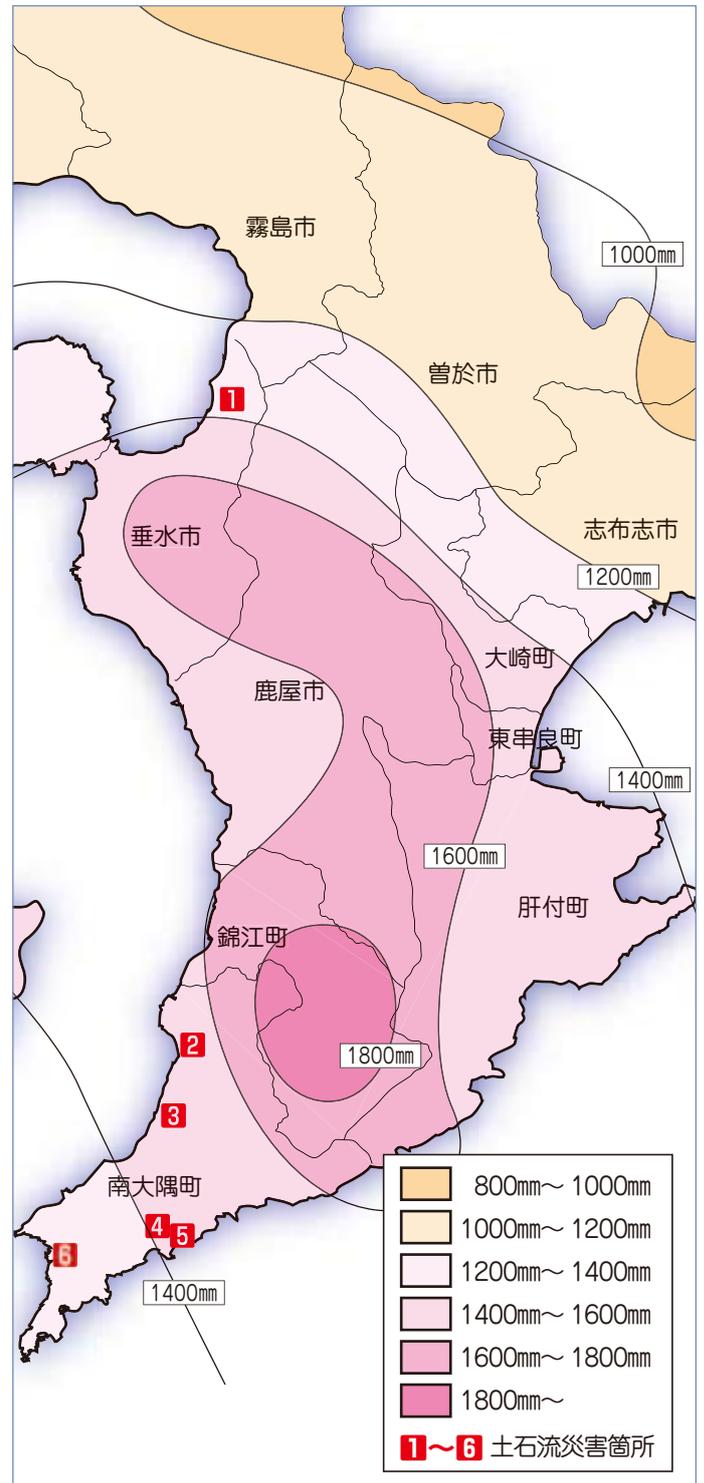
気象庁HPより引用

■衛星画像 (7月14日09時)



気象庁HPより引用

■等雨量線図 (6月1日~7月18日までの総雨量)



■降雨状況 (過去10年間の6月1日～7月18日降雨量)

鹿兒島気象台観測所名
1～**6** 土石流災害箇所

